

執筆要領：『日本認知言語学会論文集』第26巻

執筆要領をご熟読のうえ、ご執筆くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

<一般的指針>

- ・原稿のタイトルは、プログラムに掲載されたタイトル（副題および記号類を含む）と同一にしてください。変更は認められません。
- ・原稿は、必ず「pdf ファイル」（A4 サイズ）で提出してください。提出の際、特に以下の点にご注意ください。

- ①ファイルは「JCLAプロシーディング」編集事務局（「論文集の執筆要領」をお送りしたメールアドレス）までお送りください。
- ②論文本体の他に、要旨が必要なカテゴリーの場合は、論文本体の後に要旨を続け、論文本体と要旨を1つのpdf ファイルにしてください。
- ③ファイル名には、執筆者のフルネームを付けてください。なお、フルネームは、「小文字の半角英字」で、姓・名の順で続けて記してください（例：tsujiyukio）
- ④ファイル内の各ページには、ページ番号およびヘッダー・フッターを付けないでください。
- ⑤編集作業の都合上、閲覧パスワードの設定および編集パスワードの設定は行なわないでください。

- ・「JCLAプロシーディング」編集事務局では原稿のチェックは致しません。校正もございませんので、**完全原稿**で提出いただきますようお願い申し上げます。
- ・提出後の修正・変更はできません。送付データの内容等を十分に確認した上でご送付ください。また、万一に備えて提出いただいたpdf ファイルをお手許に保管しておいてください。
- ・研究大会以後、ご連絡先に変更のあった場合（特にメールアドレスの変更により連絡に支障を来すケースが例年発生しております）は、「JCLAプロシーディング」編集事務局まで必ずご一報くださいますようお願い致します。
- ・目次（和文および英文）の作成作業の円滑化のために、原稿提出の際のメールの「本文」に、以下のことを必ず記してください。よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

- ①原稿が和文の場合 ➡ 「日本語表記の執筆者名」「論文の日本語タイトル」「ローマ字表記の執筆者名」「論文の英語タイトル」
- ②原稿が英文の場合 ➡ 「ローマ字表記の執筆者名」「論文の英語タイトル」、執筆者が日本語表記の名前を持つ場合は、その「日本語表記の名前」

本プロシーディングは電子媒体にて公開されます。なお、執筆にあたっては、正当な範囲を 超える引用である場合には、著作権等に、より一層ご配慮ください。（特に他者が権利を有する図表等を使用する場合には、必要に応じ、権者から許諾を得る等の権利処理を行うよう、お願い致します。）明らかに不適切な使用が含まれると考えられる場合には掲載を見送らせていただくこともあります。

すべてのカテゴリーについて、原稿の締切は **2025 年 12 月 18 日（木）必着** をお願い申し上げます。原稿の送付先は下記の通りです。

「JCLAプロシーディング」編集事務局

メールアドレス：「論文集の執筆要領」をお送りしたアドレス

<『日本認知言語学会論文集』執筆規定>

執筆規定は全部で8種類ありますが、以下の順序でカテゴリーごとに掲載されています。原稿ご提出の際、該当するカテゴリーの執筆規定に準拠してください。

- (1) [特別講演者用執筆規定 \(p. 3\)](#)
- (2) [シンポジウム司会者用執筆規定 \(p. 5\)](#)
- (3) [シンポジウム発表者用執筆規定 \(p. 6\)](#)
- (4) [ワークショップ司会者\(代表者\)用執筆規定 \(p. 8\)](#)
- (5) [ワークショップ発表者用執筆規定 \(p. 9\)](#)
- (6) [ワークショップ・ディスカッサント用執筆規定 \(p. 10\)](#)
- (7) [研究発表者用執筆規定 \(p. 11\)](#)
- (8) [ポスター・セッション発表者用執筆規定 \(p. 13\)](#)

.....

(1)特別講演者用執筆規定

1. 用紙・枚数

A 4 用紙で 15 枚以内(注および参考文献も含む)＋要旨 1 枚(下記の 3 を参照)。
規定枚数の超過は認めない。

2. 書式

- a. 余白は、上 20mm、下 30mm、左右 20mm とする。行間スペースは自由。
- b. 原稿の 1 ページ目には、タイトル・氏名・所属を記し、本文を続ける。
(原稿のタイトルと講演のタイトルに変更がないように留意すること。)
- c. 原稿は横書き。注を付ける場合は、脚注(footnote)とし、上付きのアラビア数字 (¹, ², ³…) を用いる。
- d. フォント(活字)については、和文は明朝、英文は Times New Roman を推奨する(但し、推奨であって義務ではない)。フォントサイズは本文は 11 p 以上とする。但し注など、本文より小さめの字を必要とする箇所は 10 p 以上とする。

3. 要旨

- a. 和文の原稿には英文の要旨を、英文の原稿には和文の要旨を添える。但し、やむをえない場合は、英文の原稿に英文の要旨を添えてもよい。
- b. 要旨には、<Abstract>ないしは<要旨>をページの左上に記し、タイトル、名前、所属、本文を続ける。
- c. 行数は特に指定しないが、A 4 用紙 1 枚におさめる(但し、この要旨は原稿執筆枚数の 15 枚には含めない)。

4. その他の執筆規定

- a. 執筆者は、前回の大会での発表者に限る。
- b. 内容は、口頭発表に沿ったものとする(但し、多少の変更は認められる)。
- c. 和文または英文で執筆する(発表と同一言語とする)。
- d. 参考文献は、原則として次の要領に従う。
 - ・単行本については著(編)者名・発行年・書名・発行地・出版社を、
 - ・論文については著者名・発行年・論文名・掲載誌名・巻/号・ページを記入する(論文集は単行本に準じる)。
- e. 原稿の差し替えは、原則として認めない。

5. 原稿締切 2025 年 12 月 18 日 (木) 必着

6. 原稿送付先

原稿(論文+要旨)の pdf ファイルとメール本文記載事項は、下記のメールアドレスに送付する。

「JCLAプロシーディング」編集事務局

メールアドレス：「論文集の執筆要領」をお送りしたアドレス

(2) シンポジウム司会者用執筆規定

1. 用紙・枚数

A 4 用紙で 3 枚以内。規定枚数の超過は認めない。

2. 書式

- a. 余白は、上 20mm、下 30mm、左右 20mm とする。行間スペースは自由。
- b. 原稿の 1 ページ目には、タイトル・氏名・所属を記し、本文を続ける。
(原稿のタイトルとシンポジウムでのタイトルに変更がないよう留意すること。)
- c. 原稿は横書き。注を付ける場合は、脚注 (footnote) とし、上付きのアラビア数字^(1, 2, 3…)を用いる。
- d. 和文または英文で執筆する(発表と同一言語とする)。
- e. フォント(活字)については、和文は明朝、英文は Times New Roman を推奨する(但し、推奨であって義務ではない)。フォントサイズは本文は 11 p 以上とする。但し注など、本文より小さめの字を必要とする箇所は 10 p 以上とする。
- f. 原稿の差し替えは、原則として認めない。

3. その他の執筆規定

執筆者は、前回の大会でのシンポジウム司会者に限る。

4. 原稿締切 2025 年 12 月 18 日 (木) 必着

5. 原稿送付先

原稿(論文)の pdf ファイルとメール本文記載事項は、下記のメールアドレスに送付する。

「JCLA プロシーディング」編集事務局

メールアドレス: 「論文集の執筆要領」をお送りしたアドレス

- N.B. シンポジウム司会者が、シンポジウム発表を兼ねた場合は、両方(司会者・発表者)の原稿を提出する。

(3) シンポジウム発表者用執筆規定

1. 用紙・枚数

A 4 用紙で 15 枚以内(注および参考文献も含む)＋要旨 1 枚(下記の 3 を参照)。
規定枚数の超過は認めない。

2. 書式

- a. 余白は、上 20mm、下 30mm、左右 20mm とする。行間スペースは自由。
- b. 原稿の 1 ページ目には、タイトル・氏名・所属を記し、本文を続ける。
(原稿のタイトルと発表のタイトルに変更がないよう留意すること。)
- c. 原稿は横書き。注を付ける場合は、脚注(footnote)とし、上付きのアラビア数字
(^{1, 2, 3...})を用いる。
- d. フォント(活字)については、和文は明朝、英文は Times New Roman を推奨する(但し、
推奨であって義務ではない)。フォントサイズは本文は 11 p 以上とする。但し注な
ど、本文より小さめの字を必要とする箇所は 10 p 以上とする。

3. 要旨

- a. 和文の原稿には英語の要旨を、英文の原稿には和文の要旨を添える。但し、やむをえ
ない場合は、英文の原稿に英文の要旨を添えてもよい。
- b. 要旨には、<Abstract>ないしは<要旨>をページの左上に記し、タイトル、名前、
所属、本文を続ける。
- c. 行数は特に指定しないが、A 4 用紙 1 枚におさめる(但し、この要旨は、原稿執筆枚
数の 15 枚には含めない)。

4. その他の執筆規定

- a. 執筆者は、前回の大会での発表者に限る。
- b. 内容は、口頭発表に沿ったものとする(但し、多少の変更は認められる)。
- c. 和文または英文で執筆する(発表と同一言語とする)。
- d. 参考文献は、原則として次の要領に従う。
 - ・単行本については著(編)者名・発行年・書名・発行地・出版社を、
 - ・論文については著者名・発行年・論文名・掲載誌名・巻/号・ページを記入する(論
文集は単行本に準じる)。
- e. 原稿の差し替えは、原則として認めない。

5. 原稿締切 2025 年 12 月 18 日(木) 必着

6. 原稿送付先

原稿(論文+要旨)の pdf ファイルとメール本文記載事項は、下記のメールアドレスに送付する。

「JCLAプロシーディング」編集事務局

メールアドレス：「論文集の執筆要領」をお送りしたアドレス

(4) ワークショップ司会者(代表者)用執筆規定

1. 用紙・枚数

A 4 用紙で 1 枚。規定枚数の超過は認めない。

2. 書式

a. 余白は、上 20mm、下 30mm、左右 20mm とする。行間スペースは自由。

b. 原稿には、タイトル・氏名・所属を記し、本文を続ける。

(原稿のタイトルとワークショップでのタイトルに変更がないよう留意すること。)

c. 原稿は横書き。注を付ける場合は、脚注(footnote)とし、上付きのアラビア数字(¹, ², ³…)を用いる。

d. フォント(活字)については、和文は明朝、英文は Times New Roman を推奨する(但し、推奨であって義務ではない)。フォントサイズは本文は 11 p 以上とする。但し注など、本文より小さめの字を必要とする箇所は 10 p 以上とする。

3. その他の執筆規定

a. 執筆者は、前回の大会でのワークショップの司会者(代表者)に限る。

b. 和文または英文で執筆する(発表と同一言語とする)。

c. 原稿の差し替えは、原則として認めない。

4. 原稿締切 2025 年 12 月 18 日 (木) 必着

5. 原稿送付先

原稿(論文)の pdf ファイルとメール本文記載事項は、下記のメールアドレスに送付する。

「JCLA プロシーディング」編集事務局

メールアドレス:「論文集の執筆要領」をお送りしたアドレス

N.B. ワークショップ司会者(代表者)が、ワークショップ発表を兼ねた場合は、両方(司会者・発表者)の原稿を提出する。ワークショップ発表者とディスカッサントの原稿は、司会者(代表者)がとりまとめて提出する。

(5) ワークショップ発表者用執筆規定

1. 用紙・枚数

A 4 用紙で 6 枚以内(注および参考文献も含む)。規定枚数の超過は認めない。

2. 書式

- a. 余白は、上 20mm、下 30mm、左右 20mm とする。行間スペースは自由。
- b. 原稿の 1 ページ目には、タイトル・氏名・所属を記し、本文を続ける。
(原稿のタイトルと発表のタイトルに変更がないよう留意すること。)
- c. 原稿は横書き。注を付ける場合は、脚注(footnote)とし、上付きのアラビア数字^(1, 2, 3…)を用いる。
- d. フォント(活字)については、和文は明朝、英文は Times New Roman を推奨する(但し、推奨であって義務ではない)。フォントサイズは本文は 11 p 以上とする。但し注など、本文より小さめの字を必要とする箇所は 10 p 以上とする。

3. その他の執筆規定

- a. 執筆者は、前回の大会でのワークショップの発表者に限る。
- b. 内容は、口頭発表に沿ったものとする(但し、多少の変更は認められる)。
- c. 和文または英文で執筆する(発表と同一言語とする)。
- d. 参考文献は、原則として次の要領に従う。
 - ・単行本については著(編)者名・発行年・書名・発行地・出版社を、
 - ・論文については著者名・発行年・論文名・掲載誌名・巻/号・ページを記入する(論文集は単行本に準じる)。
- e. 原稿の差し替えは、原則として認めない。

4. 原稿締切 2025 年 12 月 18 日 (木) 必着

N.B. 原稿は、司会者(代表者)がとりまとめて提出する。

(6) ワークショップ・ディスカッサント用執筆規定

1. 用紙・枚数

A 4 用紙で 3 枚以内(注および参考文献も含む)。規定枚数の超過は認めない。

2. 書式

- a. 余白は、上 20mm、下 30mm、左右 20mm とする。行間スペースは自由。
- b. 原稿の 1 ページ目には、タイトル・氏名・所属を記し、本文を続ける。
(原稿のタイトルと発表のタイトルに変更がないよう留意すること。)
- c. 原稿は横書き。注を付ける場合は、脚注(footnote)とし、上付きのアラビア数字^(1, 2, 3…)を用いる。
- d. フォント(活字)については、和文は明朝、英文は Times New Roman を推奨する(但し、推奨であって義務ではない)。フォントサイズは本文は 11 p 以上とする。但し注など、本文より小さめの字を必要とする箇所は 10 p 以上とする。

3. その他の執筆規定

- a. 執筆者は、前回の大会でのワークショップのディスカッサントに限る。
- b. 内容は、当日の論評に沿ったものとする(但し、多少の変更は認められる)。
- c. 和文または英文で執筆する(発表と同一言語とする)。
- d. 参考文献は、原則として次の要領に従う。
 - ・単行本については著(編)者名・発行年・書名・発行地・出版社を、
 - ・論文については著者名・発行年・論文名・掲載誌名・巻/号・ページを記入する(論文集は単行本に準じる)。
- e. 原稿の差し替えは、原則として認めない。

4. 原稿締切 2025 年 12 月 18 日 (木) 必着

N.B. 原稿は、司会者(代表者)がとりまとめて提出する。

(7)研究発表者用執筆規定

1. 用紙・枚数

A 4 用紙で 12 枚以内(注および参考文献も含む)＋要旨 1 枚(下記の 3 を参照)。
規定枚数の超過は認めない。

2. 書式

- a. 余白は、上 20mm、下 30mm、左右 20mm とする。行間スペースは自由。
- b. 原稿の 1 ページ目には、タイトル・氏名・所属を記し、本文を続ける。
(原稿のタイトルと発表のタイトルに変更がないよう留意すること。)
- c. 原稿は横書き。注を付ける場合は、脚注(footnote)とし、上付きのアラビア数字^(1, 2, 3…)を用いる。
- d. フォント(活字)については、和文は明朝、英文は Times New Roman を推奨する(但し、推奨であって義務ではない)。フォントサイズは本文は 11 p 以上とする。但し注など、本文より小さめの字を必要とする箇所は 10 p 以上とする。

3. 要旨

- a. 和文の原稿には英文の要旨を、英文の原稿には和文の要旨を添える。但し、やむをえない場合は、英文の原稿に英文の要旨を添えてもよい。
- b. 要旨には、<Abstract>ないしは<要旨>をページの左上に記し、タイトル、名前、所属、本文を続ける。
- c. 行数は特に指定しないが、A 4 用紙 1 枚におさめる(但し、この要旨は論文執筆枚数の 12 枚には含めない)。

4. その他の執筆規定

- a. 執筆者は、前回の大会での発表者に限る。
- b. 内容は、口頭発表に沿ったものとする(但し、多少の変更は認められる)。
- c. 和文または英文で執筆する(発表と同一言語とする)。
- d. 参考文献は、原則として次の要領に従う。
 - ・単行本については著(編)者名・発行年・書名・発行地・出版社を、
 - ・論文については著者名・発行年・論文名・掲載誌名・巻/号・ページを記入する(論文集は、単行本に準じる)。
- e. 原稿の差し替えは、原則として認めない。

5. 原稿締切 2025 年 12 月 18 日(木) 必着

6. 原稿送付先

原稿(論文+要旨)の pdf ファイルとメール本文記載事項は、下記のメールアドレスに送付する。

「JCLAプロシーディング」編集事務局

メールアドレス：「論文集の執筆要領」をお送りしたアドレス

N. B. 共同研究発表の場合、代表者がとりまとめて執筆・提出する。

(8) ポスター・セッション発表者用執筆規定

1. 用紙・枚数

A 4 用紙で 6 枚以内(注および参考文献も含む)＋要旨 1 枚(下記の 3 を参照)。
規定枚数の超過は認めない。

2. 書式

- a. 余白は、上 20mm、下 30mm、左右 20mm とする。行間スペースは自由。
- b. 原稿の 1 ページ目には、タイトル・氏名・所属を記し、本文を続ける。
(原稿のタイトルと発表のタイトルに変更がないよう留意すること。)
- c. 原稿は横書き。注を付ける場合は、脚注(footnote)とし、上付きのアラビア数字^{1, 2, 3...}を用いる。
- d. フォント(活字)については、和文は明朝、英文は Times New Roman を推奨する(但し、推奨であって義務ではない)。フォントサイズは本文は 11 p 以上とする。但し注など、本文より小さめの字を必要とする箇所は 10 p 以上とする。

3. 要旨

- a. 和文の原稿には英文の要旨を、英文の原稿には和文の要旨を添える。但し、やむをえない場合は、英文の原稿に英文の要旨を添えてもよい。
- b. 要旨には、<Abstract> ないしは<要旨>をページの左上に記し、タイトル、名前、所属、本文を続ける。
- c. 行数は特に指定しないが、A 4 用紙 1 枚におさめる(但し、この要旨は論文執筆枚数の 6 枚には含めない)。

4. その他の執筆規定

- a. 執筆者は、前回の大会での発表者に限る。
- b. 内容は、口頭発表に沿ったものとする(但し、多少の変更は認められる)。
- c. 和文または英文で執筆する(発表と同一言語とする)。
- d. 参考文献は、原則として次の要領に従う。
 - ・単行本については著(編)者名・発行年・書名・発行地・出版社を、
 - ・論文については著者名・発行年・論文名・掲載誌名・巻/号・ページを記入する(論文集は単行本に準じる)。
- e. 原稿の差し替えは、原則として認めない。

5. 原稿締切 2025 年 12 月 18 日(木) 必着

6. 原稿送付先

原稿(論文+要旨)の pdf ファイルとメール本文記載事項は、下記のメールアドレスに送付する。

「JCLAプロシーディング」編集事務局

メールアドレス：「論文集の執筆要領」をお送りしたアドレス

N.B. 共同発表の場合、代表者がとりまとめて執筆・提出する。